【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】令和4年2月21日(2022.2.21)

【国際公開番号】WO2019/178492
【公表番号】特表2021-518431(P2021-518431A)
【公表日】令和3年8月2日(2021.8.2)
【出願番号】特願2020-573085(P2020-573085)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ 45/00(2006.01)
Ａ６１Ｐ 1/10(2006.01)
Ａ６１Ｋ 39/395(2006.01)
Ａ６１Ｋ 31/444(2006.01)
Ａ６１Ｋ 31/4245(2006.01)
Ａ６１Ｋ 31/553(2006.01)
Ａ６１Ｋ 31/5383(2006.01)
Ａ６１Ｋ 31/4965(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ 45/00
Ａ６１Ｐ 1/10
Ａ６１Ｋ 39/395 Ｄ
Ａ６１Ｋ 39/395 Ｐ
Ａ６１Ｋ 31/444
Ａ６１Ｋ 31/4245
Ａ６１Ｋ 31/553
Ａ６１Ｋ 31/5383
Ａ６１Ｋ 31/4965

【手続補正書】
【提出日】令和4年2月10日(2022.2.10)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
オピオイド誘発性便秘の治療または予防のための医薬の製造における、ジアシルグリセロールＯ－アシルトランスフェラーゼ１（ＤＧＡＴ１）阻害剤の使用。
【請求項２】
前記ＤＧＡＴ１阻害剤は、トランス－４－（４－（５－（（６－（トリフルオロメチル）ピリジン－３－イル）アミノ）ピリジン－２－イル）フェニル）シクロヘキサン酢酸（プラジガスタット）またはその薬学的に許容可能な塩もしくはエステルである、請求項１に記載の使用。
【請求項３】
前記ＤＧＡＴ１阻害剤は、３－（４－（６－（５－（４－メトキシフェニル）－１，３，４－オキサジアゾール－２－イル）－１Ｈ－ベンゾ［ｄ］イミダゾール－２－イル）－３，５－ジメチルフェニル）－２，２－ジメチルプロパン酸（化合物９）またはその薬学的に許容可能な塩もしくはエステルである、請求項１に記載の使用。
【請求項４】

前記ＤＧＡＴ１阻害剤は、抗体である、請求項１に記載の使用。
【請求項５】
胃腸機能障害の治療または予防のための医薬の製造における、ジアシルグリセロールＯ－アシルトランスフェラーゼ１（ＤＧＡＴ１）阻害剤の使用。
【請求項６】
前記胃腸機能障害は、便秘である、請求項５に記載の使用。
【請求項７】
前記便秘は、慢性特発性便秘、便秘を伴う過敏性腸症候群、オピオイド誘発性便秘、または妊娠、投薬、もしくは神経障害による便秘である、請求項６に記載の使用。
【請求項８】
前記ＤＧＡＴ１阻害剤は、トランス－４－（４－（５－（（６－（トリフルオロメチル）ピリジン－３－イル）アミノ）ピリジン－２－イル）フェニル）シクロヘキサン酢酸（プラジガスタット）またはその薬学的に許容可能な塩もしくはエステルである、請求項５～７のいずれか１項に記載の使用。
【請求項９】
前記ＤＧＡＴ１阻害剤は、３－（４－（６－（５－（４－メトキシフェニル）－１，３，４－オキサジアゾール－２－イル）－１Ｈ－ベンゾ［ｄ］イミダゾール－２－イル）－３，５－ジメチルフェニル）－２，２－ジメチルプロパン酸（化合物９）またはその薬学的に許容可能な塩もしくはエステルである、請求項５～７のいずれか１項に記載の使用。
【請求項１０】
前記ＤＧＡＴ１阻害剤は、抗体である、請求項５～７のいずれか１項に記載の使用。
【請求項１１】
前記医薬はヒトの治療のためのものである、請求項５～１０のいずれか１項に記載の使用。
【請求項１２】
ジアシルグリセロールＯ－アシルトランスフェラーゼ１（ＤＧＡＴ１）阻害剤を含む、オピオイド誘発性便秘の治療または予防のための薬学的組成物。
【請求項１３】
前記ＤＧＡＴ１阻害剤は、トランス－４－（４－（５－（（６－（トリフルオロメチル）ピリジン－３－イル）アミノ）ピリジン－２－イル）フェニル）シクロヘキサン酢酸（プラジガスタット）またはその薬学的に許容可能な塩もしくはエステルである、請求項１２に記載の薬学的組成物。
【請求項１４】
前記ＤＧＡＴ１阻害剤は、３－（４－（６－（５－（４－メトキシフェニル）－１，３，４－オキサジアゾール－２－イル）－１Ｈ－ベンゾ［ｄ］イミダゾール－２－イル）－３，５－ジメチルフェニル）－２，２－ジメチルプロパン酸（化合物９）またはその薬学的に許容可能な塩もしくはエステルである、請求項１２に記載の薬学的組成物。
【請求項１５】
前記ＤＧＡＴ１阻害剤は、抗体である、請求項１２に記載の薬学的組成物。
【請求項１６】
ジアシルグリセロールＯ－アシルトランスフェラーゼ１（ＤＧＡＴ１）阻害剤を含む、胃腸機能障害の治療または予防のための薬学的組成物。
【請求項１７】
前記胃腸機能障害は、便秘である、請求項１６に記載の薬学的組成物。
【請求項１８】
前記便秘は、慢性特発性便秘、便秘を伴う過敏性腸症候群、オピオイド誘発性便秘、または妊娠、投薬、もしくは神経障害による便秘である、請求項１７に記載の薬学的組成物。
【請求項１９】
前記ＤＧＡＴ１阻害剤は、トランス－４－（４－（５－（（６－（トリフルオロメチル）ピリジン－３－イル）アミノ）ピリジン－２－イル）フェニル）シクロヘキサン酢酸（プ

ラジガスタット）またはその薬学的に許容可能な塩もしくはエステルである、請求項１６～１８のいずれか１項に記載の薬学的組成物。
【請求項２０】
前記ＤＧＡＴ１阻害剤は、３－（４－（６－（５－（４－メトキシフェニル）－１，３，４－オキサジアゾール－２－イル）－１Ｈ－ベンゾ［ｄ］イミダゾール－２－イル）－３，５－ジメチルフェニル）－２，２－ジメチルプロパン酸（化合物９）またはその薬学的に許容可能な塩もしくはエステルである、請求項１６～１８のいずれか１項に記載の薬学的組成物。
【請求項２１】
前記ＤＧＡＴ１阻害剤は、抗体である、請求項１６～１８のいずれか１項に記載の薬学的組成物。
【請求項２２】
ヒトの治療のための、請求項１６～２１のいずれか１項に記載の薬学的組成物。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４４】
均等物
本発明の特定の実施形態が論述されてきたが、上記の明細書は例示的であり、限定的ではない。本発明の多くの類型は、本明細書及び以下の特許請求の範囲を検討すると、当業者に明らかになる。本発明の完全な範囲は、特許請求の範囲と、その均等物の完全な範囲、及び明細書と、そのような類型を参照することによって決定されるべきである。
本発明は例えば以下の態様を含む。
［項１］
オピオイド誘発性便秘の治療または予防における使用のためのジアシルグリセロールＯ－アシルトランスフェラーゼ１（ＤＧＡＴ１）阻害剤を含む薬学的組成物。
［項２］
前記ＤＧＡＴ１阻害剤は、トランス－４－（４－（５－（（６－（トリフルオロメチル）ピリジン－３－イル）アミノ）ピリジン－２－イル）フェニル）シクロヘキサン酢酸（プラジガスタット）またはその薬学的に許容可能な塩もしくはエステルである、項１に記載の使用のための薬学的組成物。
［項３］
前記ＤＧＡＴ１阻害剤は、３－（４－（６－（５－（４－メトキシフェニル）－１，３，４－オキサジアゾール－２－イル）－１Ｈ－ベンゾ［ｄ］イミダゾール－２－イル）－３，５－ジメチルフェニル）－２，２－ジメチルプロパン酸（化合物９）またはその薬学的に許容可能な塩もしくはエステルである、項１に記載の使用のための薬学的組成物。
［項４］
前記ＤＧＡＴ１阻害剤は、抗体である、項１に記載の使用のための薬学的組成物。
［項５］
胃腸機能障害の治療または予防における使用のためのジアシルグリセロールＯ－アシルトランスフェラーゼ１（ＤＧＡＴ１）阻害剤。
［項６］
前記胃腸機能障害は、便秘である、項５に記載の使用のためのＤＧＡＴ１阻害剤。
［項７］
前記便秘は、オピオイド誘発性便秘である、項６に記載の使用のためのＤＧＡＴ１阻害剤。
［項８］
前記ＤＧＡＴ１阻害剤は、トランス－４－（４－（５－（（６－（トリフルオロメチル

）ピリジン－３－イル）アミノ）ピリジン－２－イル）フェニル）シクロヘキサン酢酸（プラジガスタット）またはその薬学的に許容可能な塩もしくはエステルである、項５～７のいずれか１項に記載の使用のためのＤＧＡＴ１阻害剤。

［項９］

前記ＤＧＡＴ１阻害剤は、３－（４－（６－（５－（４－メトキシフェニル）－１，３，４－オキサジアゾール－２－イル）－１Ｈ－ベンゾ［ｄ］イミダゾール－２－イル）－３，５－ジメチルフェニル）－２，２－ジメチルプロパン酸（化合物９）またはその薬学的に許容可能な塩もしくはエステルである、項５～７のいずれか１項に記載の使用のためのＤＧＡＴ１阻害剤。

［項１０］

前記ＤＧＡＴ１阻害剤は、抗体である、項５～７のいずれか１項に記載の使用のためのＤＧＡＴ１阻害剤。

［項１１］

前記使用は、ヒトの治療のためのものである、項５～１０のいずれか１項に記載の使用のためのＤＧＡＴ１阻害剤。